

平成28年度 地域活性化事業交付金 交付決定事業一覧〔藤野地区〕

平成28年12月1日現在

	事業名	団体名	事業の概要	交付決定日	交付決定額 (単位：円)	全体事業費 (単位：円)
1	藤野野菜を使ったイベント開催事業	公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	<ul style="list-style-type: none"> 藤野を訪れたことのない子ども連れの家族をターゲットに、「藤野野菜」を柱に藤野の魅力を発信すること。 新たな藤野ファンの掘り起しをすること。 地元学生の地域活性化事業に対するキャリア形成。 	6月8日	150,000	150,000
2	尾崎城跡整備事業	尾崎城跡保存会	<ol style="list-style-type: none"> 看板設置により地域の歴史や地名等を多くの方々が知ることで、菅井地域の良さが理解され、来訪者がくちこみで増加し明るい地域づくり行いを菅井を活性化したい。 年に1度は地域の方々が集い、私どもの管内にあった尾崎城の歴史を偲ぶ会を開催し、未永く我が郷土を愛する地域とし、自治会退会者や地区外転出者を防止する。 	6月23日	350,000	557,642
3	藤野知って来て見てプロジェクト	藤野知って来て見てプロジェクト実行委員会	藤野の魅力とその認知度の低さとのギャップを埋め、首都圏の人たちに藤野を知ってもらい、来てもらい、その魅力を体験してもらうことを目的とする。そのことは、交流人口の増加につながり、ひいては移住者の増加をもたらすことにもなり、その面から藤野地区の活性化、まちおこしに貢献することになると考えている。	7月13日	300,000	380,000
4	荒廃地の有効利用、地域住民の交流促進事業	葛の里 羊牧場	<ul style="list-style-type: none"> 羊に庭、畑、耕作放棄地の雑草を食べさせることで、住民の労働軽減と景観の保持。 荒廃した土地の竹林(篠竹)を伐採、加工し、チップなどとして有効利用する。 放牧ゾーンングによるイノシシの農作物被害軽減。 羊の飼育を通して、地域の子ども、高齢者、家族間の交流の促進。 羊の飼育を通して、どうぶつや自然に触れ合う体験の提供。 	8月15日	200,000	230,000
5	藤野地区認知症の人及びその家族支援事業	ゆずカフェふじの	認知症本人及びその家族の孤立防止、医療・介護の専門職や地域住民との社会交流等認知症に関する地域の共助の推進。初年度は、NPO法人てくてくの2階等を利用して簡単な飲み物や軽食を用意して、認知症本人やその家族が気軽に集い、時には専門医療者の講和や、音楽ボランティアとともに歌や演奏を聴き、心豊かな一刻を過ごす。認知症本人の状態が深刻な場合は速やかに関係機関に繋ぐ。	6月4日	300,000	348,000
6	山コンin藤野	藤野商工会青年部	山コン事業を通じて若い登山客を集客し、藤野地域の魅力を伝え、リピーターを増やす。陣馬山を出会いの山とし、藤野地域をさらにアピールしていく。	6月8日	300,000	478,000
7	日連地区環境美化活動	日連美花会	環境立地条件の利点を生かした「環境共生の里づくり」に向けて、地域全員が参加できる活動を通して、住民の環境美化の意識向上や忘れかかっている住民同士の思いやり精神の再認識と、安心・安全は基より「住み良い魅力ある里づくり」を目指し、地域活性化の重点課題の一つである限界集落の改善を図る。	6月17日	70,000	108,000
8	藤粋会にぎわいづくり事業	藤粋会	定年を迎えた世代やかつて青年会で活動していた人たちの地域デビューのきっかけづくりを目的とする。地域の体育事業や祭典、美化活動などを通じて、中高年層の地域活動への参画の機会を増やす。	7月14日	170,000	200,000

	事業名	団体名	事業の概要	交付決定日	交付決定額 (単位：円)	全体事業費 (単位：円)
9	地域通貨によるお互い様ネットワーク事業	藤野地域通貨 よろづ屋	住民同士が知り合い交流すること、またそれぞれのもっている特技やいらなくなったモノなどの情報を共有することによって支え合いが出来たり、ゴミを減らすなどの効果をもたらします。また、地域での商店や店舗などに新しい顧客を誘導する効果も増えてきています。 新規住民の参加も多いのですが、まだ地元の店舗などの参加が少ない実情がありますので、その告知のためポスターやチラシなどの制作、配布を行い地域経済の活性化に寄与します。 また、5年間の取り組みの実績より、他地域から地域活性の手法のひとつとしての地域通貨の講演やワークショップの依頼もある中で、藤野地域の広報も含め今後広く展開をさせていこうと考えています。	9月23日	100,000	150,000
10	竹林伐採及び竹粉製造活用事業	竹のおくりもの	粒度の高い竹粉（特に発酵したもの）は、肥料、飼料、ぬか床、菌床等として有効なことが知られています。また、藤野地区を含め、各地で竹林の浸食が進み、山林、畑などで被害が拡大し問題となっています。 そこで、本事業では、竹林（特に、モウソウダケ）を伐採、整備して竹林の浸食に手を焼いている山主さんを支援するとともに、伐採した竹材を専用機器で製粉、発酵させ、肥料、飼料等に活用します。	5月31日	30,000	48,900
11	森林環境教育事業	自然育児の会	「子どもの遊び場」「森林環境教育」「育児支援」の場として森林を整備し活用し、野外活動指導者の元、親子を対象とした様々な自然体験プログラムを行う。子どもから自然と人の暮らしの平和的な関係性を構築する、人間力の育成へつながる環境教育、保育活動。	6月23日	300,000	600,000
12	里山・里地の整備・改良事業及び景観保全事業	牧郷悠遊倶楽部 「ウラ山を守る会」	約3000坪の利用地を縦横十字の遊歩道を作り、季節の花木を眺めつつ散策できるようにする。中高年者の散歩道として安全かつ健康的な遊歩道の整備を目指す。また所々に休憩のためのテーブルやイスを設置し、憩いの場として使用する。	6月23日	300,000	408,000